

## 学校関係者評価報告書

大阪リハビリテーション専門学校  
自己点検・評価委員会

大阪リハビリテーション専門学校（自己点検・評価委員会）が実施した令和4年度自己点検・評価表に基づき、下記日時に開催した『学校関係者評価委員会』に於いて以下の意見と評価がありましたことを報告いたします。

- 日時：2023年8月24日（木）19時30分～20時50分
- 場所：大阪リハビリテーション専門学校 6階601教室
- 委員：医療法人優仁会かとう整形在宅クリニック 理学療法士 蓮子 陽平  
株式会社コミュニティケア 理学療法士 久保 尚央  
社会福祉法人慶生会 作業療法士 小林 正樹  
大阪リハビリテーション専門学校 作業療法学科卒業生 康村 祥伎  
大阪リハビリテーション専門学校 理学療法学科卒業生 竹内 透  
大阪リハビリテーション専門学校 理学療法学科在学生の保護者 宇田川 久恵  
大阪リハビリテーション専門学校 作業療法学科在学生の保護者 船原 弘美  
大阪リハビリテーション専門学校 作業療法学科在学生の保護者 栗原 美樹

### ●学校関係者評価と意見

下記の意見と評価は、委員会や面談での意見に加え、後日書面にて提出された意見と評価をまとめたものです。

A：十分に満足できる（3点） B：満足できる（2点） C：やや不十分である（1点） D：不十分である（0点）

基準	評価委員の主なご意見	総合評価 (平均値)
【基準1】 教育理念・目的・育成 人材像等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●専門領域の知識・技術を身に付けるだけでなく、職務に対する姿勢や倫理感の育成も意識して質の高い教育を進められていると感じた。</li> <li>●学生が、今日目的を理解し自ら学び、卒業時には自律した専門職として職務を果たせるように育成配慮されている。</li> <li>●医療保険分野だけではなく、介護保険分野のカリキュラムを取り入れている事によって、今後の視野は広がっていくと思います。希望の分野で活躍できるセラピストになれるよう、目標に向かってしっかりと学べる指導が実施されていると思いました。</li> <li>●《自律したセラピスト》になるための教育理念、はっきりとした目的、人材育成の具体的なカリキュラムについて話を聞くことができた</li> </ul>	2.9

	<p>のでよかったです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●3年間で、法定単位を超えるカリキュラムが構成されており、目的意識を高く持ち、人のためになるという意欲のある学生が育成されていると思います。</li> <li>●例年通り、意欲的なセラピスト育成に力を注いでいる理念であると考えています。その中で、今後の時代に合わせた対応を求められると言う困難さも孕んでいると思います。</li> <li>●入学当初から対象者の方との向き合い方や姿勢について教えていただいた事が、その後の実習や、現在も臨床で必要とされる人格形成につながっていると考えています。</li> <li>●理想に対して具体的な実践方法や過去の取り組み、教育内容のブラッシュアップにより高い合格率や現場で必要とされる療法士の育成が実現されていると思います。</li> <li>●出願者数の低下や基礎学力の低い学生の入学など、入学前や入学後の教育でも大変な苦労はあると思いますが、OCRの教員一丸となったのシステムで今後も学生指導に携わって頂けたらと思います。</li> </ul>	
<p>【基準2】 学校運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人事考課制度が今年度試行され、制度整備が進んでいることは組織力を高めるうえで重要であり評価できる。</li> <li>●2-8-17 意思決定の階層・権限が明確であるとし、課題も特になし、となっているが、点検の進み具合が（5ではなく）4なのは何故か？（他項目にも同様の部分があった）</li> <li>●計画に基づき運営ができていると思います。</li> <li>●最終的に国家試験に合格するというもくひょうまでかなり綿密なカリキュラムが生まれ、学校全体で色々な面から運営されているように思いました。</li> <li>●様々な会議を通して、適切に運営に取り組まれている感じました。人事評価の体系整備については、今後の取り組みに期待しております。</li> </ul>	<p>2.8</p>
<p>【基準3】 教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国試合格率は十分高く教育目標を達成しているが、足りない部分について原因把握に努め、対策を実施されていることがわかった。</li> <li>●3-14で学生による授業評価も行われているが、今後も双方向で実行性のあるやりとりをし、より良い授業、教育活動を進めていただきたい。</li> <li>●学外の先生方にも専門知識を伝えるだけでなく、教育目標を踏まえた、学生にとって効果的な授業を行って頂きたい。</li> <li>●臨床の現場で経験を積んでこられた教員の採用、日々の研修や授業内容の研究などを行い、学生の指導に力を入れている学校であると感じました。</li> </ul>	<p>2.9</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●退学率の5ヵ年表記と目標との差が分かるようになっていれば、更に(オープンキャンパスなど)PRになると思います。</li> <li>●指定養成規則より多い単位数、徹底した補習授業などの説明で、充実した授業内容である事がわかりました。</li> <li>●1点?…「1年生から最終学年までの教育が重要と1P目に書かれています、今回初めてテストを受けた後、答案の返却がないので、正誤がわからず間違っただまま3年生まで～という事はないのでしょうか?</li> <li>●人材ニーズを把握しながら、学生に合わせた指導が行われていると思います。</li> <li>●豊富な実習単位数、国家試験対策、個別指導など充実した教育内容であると思います。</li> <li>●国家試験対策のみでなく、OSCEの内容が実践的であり、学生が実践的に取り組める内容になっている事で、課題を明確にできており、卒業後の臨床活動に活かす事が出来ていると感じました。</li> <li>●毎年高い国家試験合格率を維持していることや、臨床実習先での評価においても、療法士としての必要な基礎知識・技術が教育されていると思います。</li> <li>●コロナ禍も一定の落ち着きを取り戻している現状ですが、リモート授業なども今後も充実できると良いのではと思います。</li> <li>●国家試験合格率100%は難しい課題になるとおもいますが、今後も万全のサポート体制で頑張ってもらえればと思います。</li> </ul>	
<p>【基準4】 教育成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学力低下や退学について具体的に分析され、熱意をもって対策を講じておられると感じた。</li> <li>●特に2年次3年次での国試対策は充実しており、先生方も大変であるが、学生自身にもそれに応える気持ちが醸成され、頑張れると思う。</li> <li>●入学から国家試験・就職まで学生に寄り添った個々のフォローがされていると感じました。</li> <li>●国家試験の合格率などの資料を見せて頂き、改めて教育の成果となっているように思います。先輩方の成功した結果があれば今在学している生徒達の希望にもなります。</li> <li>●国家試験対策も学生に合わせて取り組まれており、退学者の低減に関しても、その理由の分析が為されていると思います。</li> <li>●今回、作業療学科国家試験合格率100%を達成し、これまで同様高い教育成果を出されていると思います。今回の結果を今後とも継続できるよう国家試験対策の講義も頑張りたいと思います。</li> <li>●学力低迷者に対するフォローが手厚く行われていると感じました。卒業生による学生指導は、学生にとって質問のハードルが下がり、とても良い取り組みであると思います。</li> </ul>	<h1>2.8</h1>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入学者数の低下傾向や入学者平均の偏差値などからも、基礎学力の低下が課題の一つになるが、毎年高い合格率を維持している。</li> <li>●退学に関する問題は学校が関与できない事情も一定数存在する中、学力に関する問題などには積極的に教員や外部人材を活用し、サポートされていることが非常に素晴らしく、手厚いフォローになっていると思います。</li> </ul>	
<p>【基準5】 学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ禍でのリモート授業が行われ、学習機会の確保、学生の不安軽減につながったと思う。今後も体調不良ややむを得ない事情で欠席となる場合は、適宜遂行頂き、意欲が途切れることなく学習させて頂きたい。</li> <li>●退学者のカウントなど認定のためのルールが厳しい中、教育訓練給付金指定されているのは評価できる。</li> <li>●保護者面談を実施されており先生方・保護者・学生が連携できる関係が築けていると思います。普段から学生とコミュニケーションを取っている機会も多く持っている様で、これからの実習や国家試験に向け安心して学校生活を送れると思います。保健室も設置されており、学生の身体面や精神面の変化にもいち早く気付き、対応できる・支援できる体制が整っていると感じました。</li> <li>●補習や教育アシスタントなどの支援がされているので(常に)支援されていると思いました。</li> <li>●課外活動において、学校周辺の清掃活動が行われていることは地域への貢献にも良いと思います。</li> <li>●OT 学科に関して入学した学生の精神的問題が気になるところです。元々、精神疾患を抱えている方が精神科領域がある OT を選びがちである事は予想されます。その中で、入学後のサポートをどのように行なうか、または入学前に篩にかけるか。篩にかける際は、どの様な条件や社会生活を達成すれば OT 学生としての生活が送れるかを提示し、今後の入学に繋げるなど考えています。</li> <li>●私自身、学生時代親身に進路相談にのっていただけ、非常にありがたかった事を覚えています。進路が明確になる事で、学生のモチベーションも保たれると思いますので、引き続き、取組を続けていただければと思います。</li> <li>●身体、精神的フォローのできる環境が今後より求められやすくなると思います。外部カウンセラーの設置や教員の指導・関わり方の見直しがなされており、学生にとってより学びに集中できる環境だと思います。</li> <li>●経済的側面への支援・整備を出来る範囲でより充足できれば良いかと思います。</li> </ul>	<h2 style="margin: 0;">2.9</h2>

<p>【基準6】 教育環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予算配分上、優先順位をつけて施設・設備の整備を進められていることがわかった。</li> <li>●防災訓練への取り組みが進みつつあることは評価できる。</li> <li>●学生が適切に学べる環境の提供ができています。学校に訪問すると、図書館には熱心に勉強している学生、先生と真剣に話している学生を目にして開かれた学校であると感じました。</li> <li>●大変整った環境で授業が自習をしているように思われます。</li> <li>●1つ不便な事は、その日の授業で使う教科書を置く場所がなく、机の下にレジャーシート等をひいているそうです。何か方法はないでしょうか？忘れ物をして帰るのを防ぐため机の引き出しがないのだと思います。</li> <li>●必要な施設、設備の整備も実施されており、防災訓練についても消防署からの指導に基づき実施予定と改善されていると思います。</li> <li>●例年通り特に問題ないかと思われます。</li> <li>●必要な物品や設備は整っており、学生にとって十分な環境であると思います。</li> <li>●学校備品や施設・設備も年々充実し、学生が非常に学びやすい環境にあると思います。</li> </ul>	<h2>2.5</h2>
<p>【基準7】 学生の募集と受け入れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育訓練給付金制度のあることは、他校との差別化ができ、社会人入学者増の大きな動機付けになると思う。</li> <li>●幅広い選抜方式があるのは良いことだと思うが、現実問題として基礎学力が備わっていないと留年・退学という深刻な問題があり、悩ましいと思った。</li> <li>●PT・OT という「職業」をまず知ってもらえる、PR できる機会があれば良いのになと思います。(例えば卒業校訪問など・・・)</li> <li>●社会人 A0 入試という入試がある事が、もう一度勉強してみようという気力につながったと思います。</li> <li>●募集定員は満たせていないものの、受験層拡大を図る制度の設置等、工夫されていると思います。</li> <li>●入学者が減っている問題に関してはかなり深刻なものかと思われれます。OT と親和性の高い美大・音大にチラシを貼る、説明会を開くなど出来ればと思いますが、大学で行うことは厳しいかと思えます。そのため、「美大生・音大生集まれ！」など条件を絞ったイベントを SNS 越しに行い、集まった学生に OT との親和性が高い事を説明するなどいかかでしょうか。条件を限定した OC のような形です。</li> <li>●ホームページ上で、学生が学習に取り組む姿勢や、教員の先生方の手厚いフォロー体制が整っている事が謳われており、入学後</li> </ul>	<h2>2.6</h2>

	<p>の生活がイメージしやすいように思います。教育訓練給付金は、入学者にとってはとても魅力のある制度ですので、これからもアピールを続けていくべきだと感じました。</p> <p>●学生募集活動は様々な形態で工夫もこなされていると思います。社会情勢など多様な影響で学生募集が難しくなっていると思いますが、専門学校の特長やOCR独自の強みを伝えていければ良いのではと思います。</p>	
<p>【基準8】 財務</p>	<p>●特に問題なく安定的に遂行されていると理解した。</p> <p>●問題なく行われていると思います。</p> <p>●中長期の財務が分かるように表現して頂きたい。</p> <p>●特にはないです</p> <p>●世間一般的に光熱費等が高くなっているため、運営も大変かと思えます。</p> <p>●企業利益については疎いのですが、過去と比べても学生の低下により下がっているとのことで、今後、学校運営と質の高いセラピスト育成を天秤をかけながらバランスをとる必要があると思いました。</p> <p>●適切に処理出来ている事が分かりました。</p>	<p>2.5</p>
<p>【基準9】 法令等の遵守</p>	<p>●9-43-2、9-44-4等、法令や個人情報に関する認識は職業人としても重要なため、啓発活動について未充足のところは、他イベント(防災訓練での動画視聴時とか)時などを利用して進めて頂きたい。</p> <p>●適切です。</p> <p>●資料の通り、適正に運営がなされていると思います。本委員会も含め、適切に検証を続けながら、取組を継続していただければと思います。</p>	<p>2.8</p>